

	基本施策	狙い	課題	令和元年度恵那市実施事業	国の施策	県の施策
①	地域資源の活用とブランド化	「恵那といえばこれ！」というモノ・コト・サービスをつくる	・地域資源の掘り起こし ・顧客データ不足 ・ニーズに基づく商品開発 ・事業化する担い手不足 ・地域をまとめる人材（組織）不在	■ 恵那ブランドものづくりコラボレーション ■ 「麒麟がくる」関連事業 ■ クラウドファンディング活用支援事業	■ DMO等による地域ブランド強化	■ DMOの経営視点による観光地域づくり・消費拡大
②	知恵とネットワークを生かしたものづくり	事業者連携で地産地消を進め、新たな価値をつくる	・他地域と連携したグルメ開発		■ 連携した観光コンテンツ強化支援	■ 広域周遊観光の核づくりによる観光消費拡大
③	市場開拓・販路拡大	流通を確保する	・地域内外に売る仕組みづくり	■ 「麒麟がくる」関連事業 ■ クラウドファンディング活用支援事業 ■ EC活用支援プロジェクト	■ 中小企業の海外への販路拡大強化 ■ 小規模事業者の経営改善・販路開拓	
④	集客・交流産業の振興	「恵那といえばこれ！」というモノ・コト・サービスをつくる	・地域資源の掘り起こし ・顧客データ不足 ・ニーズに基づく商品開発 ・メインとなるイベント不足 ・事業化する担い手不足 ・地域をまとめる人材（組織）不在	■ 観光振興ビジョンの策定 ■ DMOの推進 ■ 「麒麟がくる」関連事業 ■ 恵那峡再整備事業（ソフト） ■ 恵那ブランドものづくりコラボレーション	■ DMO等による地域ブランド強化	■ DMOの経営視点による観光地域づくり・消費拡大 ■ 広域周遊観光の核づくりによる観光消費拡大
⑤	集客できる拠点の整備	楽しんでもらえる場所をつくる	・外国人旅行者対応 ・高齢化する国内旅行者への対応 ・岩村以外での案内機能充実 ・二次交通が充実していない ・キャッシュレス対応	■ 「麒麟がくる」関連事業 ■ 観光客受入環境整備		■ ユニバーサルツーリズムの普及
⑥	魅力発信	市内外に魅力を知ってもらおう	・一元的な情報発信 ・他地域の情報不足 ・イベントの重複 ・観光客がほしい情報提供	■ 「麒麟がくる」関連事業 ■ クラウドファンディング活用支援事業	■ 大阪万博誘致による魅力発信	■ 戦国・武将関係の観光資源を活用した周遊滞在促進
⑦	経営支援					■ 海外向けサイトのアクセス分析による個人旅行者のニーズを捉えたPR
⑧	経営基盤の強化	時代に対応した持続する経営体制を整える	・教育の中での郷土愛醸成 ・キャッシュレスやソフトなどIT活用 ・事務の効率化 ・経営者の事業承継に対する重要性認識	■ キャッシュレス決済システム導入推進プロジェクト	■ AI実装・研究開発・人材育成 ■ 次世代産業の育成 ■ 小規模事業者の経営改善・販路開拓 ■ 地域成長企業の発掘・支援 ■ 地域企業のイノベーション推進 ■ キャッシュレスデータ活用 ■ 事業承継促進	
⑨	新たな担い手発掘と育成	起業・創業しやすい環境をつくる			■ ベンチャー支援	
⑩	人材の確保	働きたいと思われる職場をつくる	・採用担当者の採用に関するノウハウ不足		■ 担い手確保支援 ■ 外国人受入支援	■ 産業人材の確保 ■ 外国人産業人材の確保・活躍支援
⑪	市民が事業者を知る機会の創出	地域の人に事業者の魅力を知ってもらおう				
⑫	潜在的人材の発掘	まだ働いていない人に活躍してもらおう				■ 障がい者の一般就労拡大
⑬	人材育成	伝統や文化、技術を伝え、次の担い手を育成する			■ IT・IoT人材育成 ■ STEAM教育・リカレント教育	
⑭	企業立地の促進	地域に必要な企業を誘致する				
⑮	地域の個性を生かした産業基盤の強化					

今後取り組むべき事業（工業分野）

	基本施策	狙い	課題	令和元年度恵那市実施事業	国の施策	県の施策
①	地域資源の活用とブランド化	「恵那といえばこれ！」というモノ・コト・サービスをつくる	(独自の技術や自社ブランド強化)	■ 恵那くらしビジネスサポートセンター事業 (経営・就職・移住定住支援)		■ 食品分野の新商品研究開発
②	知恵とネットワークを生かしたものづくり	事業者連携で地産地消を進め、新たな価値をつくる	(異業種連携を促進する仕組みづくり)			■ 航空宇宙産業の地域連携による事業環境整備
③	市場開拓・販路拡大	流通を確保する			■ 中小企業の海外への販路拡大強化 ■ 小規模事業者の経営改善・販路開拓	■ 県産品の海外展開・販路拡大 ■ 航空宇宙産業の海外展開等
④	集客・交流産業の振興	「恵那といえばこれ！」というモノ・コト・サービスをつくる	(オープンファクトリーなど観光での活用)			
⑤	集客できる拠点の整備	楽しんでもらえる場所をつくる				
⑥	魅力発信	市内外に魅力を知ってもらう				
⑦	経営支援			■ 恵那くらしビジネスサポートセンター事業 (経営・就職・移住定住支援)	■ 小規模事業者の経営改善・販路開拓	
⑧	経営基盤の強化	時代に対応した持続する経営体制を整える	・IT活用（活用例や効果の周知） ・ソフト活用 ・生産性向上 ・先端設備未導入事業者への支援 ・先端設備に関するノウハウ不足 ・社内管理体制整備 ・経営者の事業承継に対するの重要性認識	■ 恵那くらしビジネスサポートセンター事業 (経営・就職・移住定住支援) ■ IoT推進ラボ事業	■ キャッシュレスデータ活用 ■ AI実装・研究開発・人材育成 ■ 次世代産業の育成 ■ 地域成長企業の発掘・支援 ■ 地域企業のイノベーション推進 ■ 事業承継促進	■ IoTの導入啓発・支援 ■ IoT研究開発・現場実証 ■ ソフトピア・IAMASでのIoT・AI活用支援 ■ 設備投資の支援 ■ 工業系試験研究機関の機能強化
⑨	新たな担い手発掘と育成	起業・創業しやすい環境をつくる			■ ベンチャー支援	
⑩	人材の確保	働きたいと思われる職場をつくる	・採用担当者の採用に関するノウハウ不足 ・転出者への情報提供 ・新卒・中途・高齢者・女性など属性に応じた対策 ・高校生の確保 ・事業者とネットワークがない学校との関係構築	■ 企業の採用力向上事業 ■ 成果を上げる就職面接会等のシステム構築 ■ 恵那くらしビジネスサポートセンター事業 (経営・就職・移住定住支援) ■ 企業の採用力向上事業	■ 担い手確保支援 ■ 外国人受入支援	
⑪	市民が事業者を知る機会の創出	地域の人に事業者の魅力を知ってもらう	・自社のPRノウハウ ・地元に戻ってきてもらうためのキャリア教育	■ 企業の魅力発信事業補助金		
⑫	潜在的人材の発掘	まだ働いていない人に活躍してもらう	・市内女性の働くことへのニーズ把握 ・市内高齢者の働くことへのニーズ把握	■ シニアワークステーション事業（シニア雇用促進）		■ 航空宇宙産業の人材育成・確保
⑬	人材育成	伝統や文化、技術を伝え、次の担い手を育成する	(技術伝承のための仕組み)		■ IT・IoT人材育成 ■ STEAM教育・リカレント教育	■ 成長産業分野の人材育成 ■ 高校生等を対象としたクリエイティブ人材育成 ■ 社会人を対象としたイノベーション人材育成 ■ 医療福祉機器・医薬品分野等支援
⑭	企業立地の促進	地域に必要な企業を誘致する	・企業誘致戦略の整備 ・企業側の立地ニーズの把握 ・工業用地の確保 ・社員の住環境整備			■ 成長分野企業の誘致 ■ リニア開業を見据えた企業誘致
⑮	地域の個性を生かした産業基盤の強化		・地元企業と関連性のある企業の選定			■ 次世代エネルギー・技術の普及促進

今後取り組むべき事業（農業分野）

	基本施策	狙い	課題	令和元年度恵那市実施事業	国の施策	県の施策
①	地域資源の活用とブランド化	「恵那といえばこれ！」というモノ・コト・サービスをつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・売れる作物の検討 ・生産農家の確保 ・振興作物の栽培推奨 ・耕作放棄地の増加 ・人手不足のため企業の参入困難 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 水稲 + 1 推進事業 ■ NEW FARMERS交流会議 ■ 農業の様々な主体との連携事業 ■ 遊休農地の活用促進事業 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 戦略作物や高収益作物への転換 ■ 規格・認証、知的財産の戦略的推進 ■ 農林水産物・食品の高付加価値化 ■ 食の安全・消費者の信頼確保 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 農畜水産物の高付加価値化・販路拡大 ■ 戦略的な産地づくり ■ 県産花きの活用促進と販売力強化 ■ 飛騨牛・酪農・養豚など畜産生産基盤の強化 ■ 黏王国ぎふの復活と発展
②	知恵とネットワークを生かしたものづくり	事業者連携で地産地消を進め、新たな価値をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関と連携による開発・PR ・野菜の確保 ・福祉事業者のニーズ把握と仕組みづくり 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 食と農の交流会 ■ 農福連携事業の構築 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 米の需要拡大等の促進 ■ 農林水産物の輸出力強化 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 東京オリ・パラ大会に向けた県産農畜水産物の利用促進
③	市場開拓・販路拡大	流通を確保する	<ul style="list-style-type: none"> ・地域飲食店との連携 ・販売農産物の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 食と農の交流会 ■ 拠点となる農産物販売拠点の整備検討 ■ NEW FARMERS交流会議 		<ul style="list-style-type: none"> ■ TPP・EPA等を追い風とした県産農畜産物の輸出拡大
④	集客・交流産業の振興	「恵那といえばこれ！」というモノ・コト・サービスをつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・地産地消登録店の磨き上げ 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地産地消推進の店認定 		
⑤	集客できる拠点の整備	楽しんでもらえる場所をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・野菜の確保 ・体験できる場の整備 ・農泊との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 拠点となる農産物販売拠点の整備 ■ 都市農村交流 		
⑥	魅力発信	市内外に魅力を知ってもらおう	<ul style="list-style-type: none"> ・サイト掲載内容の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「食」と「農」のポータルサイト開設 		
⑦	経営支援	時代に対応した持続する経営体制を整える	<ul style="list-style-type: none"> ・経営改善セミナー内容の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 食と農の交流会 ■ 農業者の経営改善事業 ■ 農福連携事業の構築 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 農業耕作条件改善 ■ 畜産・酪農の競争力強化 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 農業経営の安定化・労働力の確保対策
⑧	経営基盤の強化		<ul style="list-style-type: none"> ・ICTなどの活用による生産性向上 ・福祉事業者のニーズ把握と仕組みづくり ・事業者の事業承継に対する重要性認識 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 担い手の育成・確保 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 持続的な農業の発展に向けた生産現場の強化 ■ 生産資材価格の引き下げ、流通・加工の構造改革 ■ 農地集積・集約化 ■ スマート農業と農林水産・食品分野におけるイノベーション推進 ■ 農山漁村の活性化 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 農地集積・集約化 ■ スマート農業の推進 ■ シビエの推進 ■ 地域資源を活用した農村地域活性化 ■ 就業・就業支援体制の強化 ■ 就農研修拠点の拡大・就農研修の充実
⑨	新たな担い手発掘と育成	起業・創業しやすい環境をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・新規就農者の確保 ・あすなる農業塾長の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 担い手の育成・確保 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 農業担い手の育成・確保 	
⑩	人材の確保	働きたいと思われる職場をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・経営者の採用に関するノウハウ不足 ・幅広い人材の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 農業者の経営改善事業 ■ 担い手の育成・確保 		
⑪	市民が事業者を知る機会の創出	地域の人に事業者の魅力を知ってもらおう	<ul style="list-style-type: none"> ・自社のPRノウハウ 	<ul style="list-style-type: none"> ■ NEW FARMERS交流会議 		<ul style="list-style-type: none"> ■ 農林系アカデミー・農業大学の運営向上
⑫	潜在的人材の発掘	まだ働いていない人に活躍してもらおう	<ul style="list-style-type: none"> ・市内女性の働くことへのニーズ把握 ・市内高齢者の働くことへのニーズ把握 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 担い手の育成・確保 		
⑬	人材育成	伝統や文化、技術を伝え、次の担い手を育成する	<ul style="list-style-type: none"> ・技術力向上 			
⑭	企業立地の促進	地域に必要な企業を誘致する	<ul style="list-style-type: none"> ・日本食農連携機構との連携 			
⑮	地域の個性を生かした産業基盤の強化		<ul style="list-style-type: none"> ・集落営農法人の法人化 			

今後取り組むべき事業（林業分野）

	基本施策	狙い	課題	令和元年度恵那市実施事業	国の施策	県の施策
①	地域資源の活用とブランド化	「恵那といえばこれ！」というモノ・コト・サービスをつくる	・オリジナル製品開発 ・付加価値の高いビジネスモデル ・木工展が販売につながっていない	■オリジナル木工製品開発促進事業		■新たな県産材住宅の開発、普及活動への支援 ■JAS製品等及びGAP認証製品の供給拡大支援 ■県産材の競争力強化・販路拡大支援
②	知恵とネットワークを生かしたものづくり	事業者連携で地産地消を進め、新たな価値をつくる	(異業種連携を促進する仕組みづくり) (新築住宅で市内産材を活用してもらう仕組みづくり)	■住宅建築の促進事業	■低層建築物での無垢構造材等利用拡大 ■CLT等新たな木質建築部材の利用促進 ■A材丸太を原材料とする構造材、内装材、家具等の普及啓発 ■木材利用に取り組む民間企業ネットワーク構築	■市町村等による木材利用の取組支援 ■「ぎふの木」を用いた住宅建設への支援 ■公共施設の木造化や木製家具導入等への支援 ■商業施設等の木造化・内装木質化への支援 ■東京オリンピック等関連施設への県産材利用促進
③	市場開拓・販路拡大	流通を確保する	(市内産材を市内で利用してもらう流通の確保)		■高付加価値木材製品の輸出促進	■国内外での県産材消費拡大のためのPR ■海外での県産材住宅等建設への支援
④	集客・交流産業の振興	「恵那といえばこれ！」というモノ・コト・サービスをつくる	(体験プログラムなど観光での活用)			
⑤	集客できる拠点の整備	楽しんでもらえる場所をつくる	(林業体験できる場の整備)			
⑥	魅力発信	市内外に魅力を知ってもらおう	・体験から定着へつなげる仕組み	■えなの森林魅力発信事業		
⑦	経営支援					
⑧	経営基盤の強化	時代に対応した持続する経営体制を整える	・将来ビジョンの検討 ・資金の低さと危険性 ・高性能機械の導入	■森林環境譲与税を活用した森林整備	■特用林産物を活用した成長産業化支援 ■ 林業の成長産業化と生産流通構造改革の推進 ■出荷ロットの大規模化、高性能林業機械等の導入等支援による持続的林業確立 ■木材加工流通施設、木質バイオマス利用促進施設等整備支援による競争力強化 ■ 林業成長産業化地域創出モデル事業 ■スマート林業推進 ■木質バイオマスエネルギー利用の地域内エコシステム構築 ■グリーンウッド普及促進	■林業経営者の生産性向上支援 ■森林資源確保に向けた主伐・再造林支援 ■林道整備の推進
⑨	新たな担い手発掘と育成	起業・創業しやすい環境をつくる		■えなの森林魅力発信事業		■「森のジョブステーションぎふ」による林業の担い手確保・育成
⑩	人材の確保	働きたいと思われる職場をつくる	・体験から定着へつなげる仕組みづくり ・インターン促進			
⑪	市民が事業者を知る機会の創出	地域の人に事業者の魅力を知ってもらおう	(林業者の情報発信に関するノウハウ)			■木育拠点の整備 ■森林教育プログラムの開発 ■「100年先の森林づくり」普及啓発
⑫	潜在的人材の発掘	まだ働いていない人に活躍してもらおう	・半林半X人材の発掘			
⑬	人材育成	伝統や文化、技術を伝え、次の担い手を育成する	・人材育成する人材不足 ・技術力向上		■木材生産高度技術者の育成 ■現場管理者の育成	■林業事業者の経営強化のための研修会開催 ■次世代林業架線技術の普及 ■低コスト再造林技術の普及
⑭	企業立地の促進	地域に必要な企業を誘致する				4
⑮	地域の個性を生かした産業基盤の強化					